

安達氏ら12氏選出

米調査会社のトムソン・ロイター（ニューヨーク市）は7日、先端研究領域（リサーチ・フロント）で活躍する研究者を表彰する「第4回リサーチ・フロント・アワード」の受賞者に、有機エレクトロ・ルミネッセンス（EL）の研究に取り組む九州大学工学研究院の安達千波矢主幹教授ら12人を選出したと発表した。10月21日に東京・赤坂のトムソン・ロイター日本オフィスで授賞式を開く。

同アワードは論文の被引用数などを基に、今後の発展が期待される先端研究領域を特定し、各領域で世界を先導する日本の研究機関

▽渡邊賛司物質・材料研究機構主席研究員、谷口尚物質・材料研究機構グループリーダー（グラフエン－六方晶窒化ホウ素の電子

的および光学的特性) ▽沙川貴大 東京大学大
学院准教授 (確率的な
熱力学とゆらぎの定
理) ▽滝沢研一 早稲田
大学理工学術院准教授
(流動力学のモデリング)
▽金井求 東京大学
大学院教授、松永茂樹
北海道大学大学院教
授、吉野達彦 北海道大
学大学院助教 (コバル
ト触媒とC-H結合活
性型反応) ▽谷本拓東
北京大学大学院教授 (報
酬シグナルとして働く
ドーパミン-ニューロン)
▽木村英雄 国立精神
・神経医療研究センター
神経研究所神経薬理
研究部長 (硫化水素
によるシグナル伝達)
▽柴谷直人 大阪大学大
学院教授、鳶巣守 (ど
びす・まるる) 大阪大
学大学院准教授 (エー
テルの触媒的クロスカ
ップリング反応)